

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 ウイズアイ

代表者・役職名 氏名 川原壽春 理事長

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

清瀬市全小学校実施 赤ちゃんのチカラプロジェクト ～学校に赤ちゃんが来た！～

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

活動のきっかけは、新生児訪問指導に携わった助産師・保健師が、必死に子育てをしているお母さん達に出会ったことでした。孤独な密室育児から解放され、仲間と共に助け合える、地域づくりの必要性を痛感し、ボランティアで活動を開始(H7(1995)年)しました。その後、ウイズアイとして法人格を取得(H18(2006)年)し、H27年度の会員数は330人を超えました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

近年取りざたされる、いじめや犯罪の若年化、青少年の自殺、自己肯定感の欠如、親になれない親、児童虐待、それらの根本を見直すために、自分と他者を大切に思いやる教育＝「命の教育」が必要です。上記社会的背景をふまえ、乳幼児の健全な発達の促進、幼児教育、小中学校での性教育、親教育まで、地域で一貫して携わることこそ、本プロジェクトの理念にかなう活動につながります。子育て支援・親支援・子育てを通じた地域づくりを目指す当団体は、生涯学習の一環として本プロジェクトに取り組むべき使命があると考えています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

清瀬市立小学校全9校の高学年(5または6年)全クラスに対して、命の授業を実施します。各クラス、講義1時間、赤ちゃんの抱っこ体験1時間で構成されています。講義では、映像教材を使用して、妊娠から出産、第二次性徴までを学び、自分自身をそして他者を大切にすることを学びます。体験授業では沐浴人形で新生児を体感し、その後、学区内在住の0歳児の赤ちゃんとお母さん8組程を学校に招き、児童全員が抱っこを体験しながら、お母さんの話を聞きます。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

市内小学校全9校、22クラス、児童668名(在籍数)に対して実施し、赤ちゃん親子ゲストは、のべ130組以上の皆さんにご協力いただきました。児童全員に実施するアンケートで、「とてもよかった」(4段階の最高評価)は、講義76.7%、体験授業92.0%の結果を得ました。また、誕生学会から講師をお招きし、一般講座と研修講座を各1回実施しました。

参加した赤ちゃんの成長、ゲストママの地域参加、学校関係者と地域との関わり、児童の学び、本事業に携わった全ての人それぞれに学びがありました。

児童のみなさんは、すれ違うベビーカーや赤ちゃん連れのお母さんへのまなざしが優しくなるでしょう。お母さんたちは、我が子の数年後をイメージしながら小学生を温かく見守り、優しく導いてくれるでしょう。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

赤ちゃんゲストをお招きするということは、「命を学ぶ授業」で「命をお預かりする」ため、衛生面をはじめとした細心の注意が必要です。学校関係者をはじめ、教育委員会のご理解や、スタッフ教育が不可欠になるため、綿密な打ち合わせや研修が必要です。このための人員・時間・経費の確保が課題です。

また、小学校高学年での実施は、授業時間の確保が難しく、学校のご要望になるべく沿うように実施することも難しい場合があります。

今後の展望としては、保護者のみなさんにも付随した「命の教育」をお伝えし、当団体の理念とともに地域全体で取り組む教育の重要性を考える場を設けたいと思っています。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

子育て支援情報紙 ヨイゾアイ 第28号 1部

H27 年度「赤ちゃんのチカラプロジェクト」
体験授業で新生児（沐浴）人形を使用している様子

